

第2期鴨川市健康福祉推進計画【地域福祉計画編】(素案)に対する委員の意見等及び当該意見等への対応一覧

資料 2

No.	回次	発言者※	頁 (原案)	分野	意見等(頁番号については素案のもの)	担当課等	対応(案) (頁番号については原案のもの)
1	第3回(11/9) 地域福祉計画策定委員会	増子勝義委員	-	地域福祉	素晴らしい文言が並んでいるが、鴨川市の問題に踏み込んで欲しい部分はこれから出て来ると考えてよろしいのか。 (一)	福祉課 社会福祉協議会	具体的な事業概要を示させていただきましたが、今後、上位計画である総合計画と整合を図りながら前期実施計画を調製し、その中で改めて事業内容をお示しするとともに、数値化できる項目については評価指標を設定させていただきます。 また、社会福祉協議会でも、地域における具体的な課題に対応する計画として、本地域福祉計画に連動した地域福祉活動計画を策定中です。 なお、この計画は、各地区社協が地区の事情を踏まえながら、自主的・主体的な地域課題への取り組み内容を盛り込むこととしており、より実践的な計画となるものと思われます。
2	第3回(11/9) 地域福祉計画策定委員会	四井与志雄委員	-	地域福祉	地域でいろいろな組織がつくられているが、計画に基づいてどのように動いていってもらうのか、決めていくのがこの計画と考えてよいのか。(一)	福祉課	計画では、施策体系別に目指す地域像や目標を掲げるとともに、「自助・自立」、「共助・共生」そして「公助・公共」に区分した取り組みを掲載していますが、各層におけるひとつの方向性と捉えていただきたいと思います。
3	第3回(11/9) 地域福祉計画策定委員会	鎌田麻子委員	107 112	地域福祉	精神障害の早期発見・早期療育とあるが、療育ならば発達障害が該当するのでは。(P101) また、権利擁護の啓発についても記載をしてほしい。(P102)	福祉課 社会福祉協議会	ご指摘のとおり、次のとおり修正しました。 (修正内容) 「また、増加傾向にある精神障害のある人に対しては、早期発見・早期療育が求められています。」 ⇒「また、増加傾向にある発達障害のある人の早期発見・早期療育、精神障害のある人の支援の充実が求められています。」 また、権利擁護推進センターの啓発については、精神障害者の中には権利擁護への関わりが求められる人が多くいることに鑑み、特定相談支援事業所、一般相談支援事業所等の事業所ならびに関係団体への周知の実施と、家族会への説明会の開催などの実施といった具体的な取り組み内容を実施計画上に明記しました。

※委員によっては複数の委員会を兼任し、役職も異なるため、表記を「委員」で統一しています。

第2期鴨川市健康福祉推進計画【地域福祉計画編】(素案)に対する委員の意見等及び当該意見等への対応一覧

資料 2

No.	回次	発言者※	頁 (原案)	分野	意見等(頁番号については素案のもの)	担当課等	対応(案) (頁番号については原案のもの)
4	第1回(11/13) 健康福祉委員会	根本礼子委員	108	地域福祉	健康マイレージ制度の導入とともに、福祉意識の醸成を図り、持続性を保つために「福祉ポイント」を導入してはどうか。婚活にも利活用することも考えられる。(P99)	福祉課	ご指摘のとおり、様々な政策により福祉意識の醸成に努めることは極めて重要と認識しており、福祉ポイントも有効な仕組みの一つとして、国・県や近隣市町村の動向に注視しつつ、調査・研究して参りたいと思いますが、共生社会・共助の概念においては、ボランティア活動への積極的な参加や取り組みに対する自発的な意欲喚起による福祉意識の醸成に努めていきたいと考えています。 なお、福祉活動を行う団体等(地縁組織を含め)への支援等については、公益活動基金などの積極的な活用を促していきたいと考えており、「第3節 6. 地域の活性化と安定的な自主財源の確保」中に、当該基金のスキーム図を新たに掲載させていただきました。
5	第3回(11/9) 地域福祉計画策定委員会	鎌田麻子委員	113	地域福祉	成年後見制度の利用をはじめると、それまで支援に関わっていた方々の足が遠のいてしまい、成年後見人と本人が孤立することがある。利用をはじめたあと、どう制度を有効に活用するかが大事ではないか。(P106)	健康推進課 社会福祉協議会	被後見人は複合的な課題を抱えていることが多いため、地域包括ケアの視点に立った重層的な支援、即ち、関係機関等による支援のネットワーク体制の構築により、孤立化を招かぬよう努めて参ります。 なお、本年度に社会福祉協議会が権利擁護推進センターを立ち上げておりますので、その取り組み内容を参考までに、新たに掲載させていただきました。
6	第3回(11/9) 地域福祉計画策定委員会	服部克巳委員	120	地域福祉	以前、市川市に視察にいったが、自治会の組織づくりに力を入れているようだった。鴨川市も自治会組織力が落ちてきている。加入促進に行政はどう取り組むのか。(P112)	市民交流課	鴨川市においても自治組織に対する意識の希薄化が進む中、その加入率の向上に向け、住民窓口における自治組織加入の働きかけ、広報誌による呼びかけ強化、未加入世帯に対して加入促進のパンフレットの配布、地域防災、災害時における住民同士の協働の必要性についての啓発などの取り組みを推進して参ります。
7	第3回(11/9) 地域福祉計画策定委員会	仲澤博委員	120	地域福祉	地域の絆を強くしておいた方がよい。「これはいいな」という取り組みに絞っていく方がよいと思う。(P112)	市民交流課	地域運営を担う上で、地域コミュニティの強い絆は必要不可欠です。このため、コミュニティの弱体化は、大きな行政課題のひとつとして捉え、自治組織加入促進策を検討し、効果的と考えられる対策に取り組んで参ります。

※委員によっては複数の委員会を兼任し、役職も異なるため、表記を「委員」で統一しています。

第2期鴨川市健康福祉推進計画【地域福祉計画編】(素案)に対する委員の意見等及び当該意見等への対応一覧

資料 2

No.	回次	発言者※	頁 (原案)	分野	意見等(頁番号については素案のもの)	担当課等	対応(案) (頁番号については原案のもの)
8	第3回(11/9) 地域福祉計画策定 委員会	榎本豊委員	120	地域福祉	鴨川市の自治会加入率が下がっている。横の連携を密にして取り組んでほしい。社協でも精一杯やっていくが、加入促進に向けて取り組んでほしい。(P112)	市民交流課	前項の取り組みに加え、各地域団体の皆さんと協力・連携して、加入率の向上に努めます。
9	第1回(11/13) 健康福祉委員会	民内順子委員	120	地域福祉	自治会等の加入率が低迷しているため、自治組織力の強化として防災面から働きかけてはどうか。 例えば、津波避難については、津波避難ビルに一時的に避難するケースが多いが、海側に避難することに抵抗を覚える住民も多いため、地域で避難場所を考えるなど。	市民交流課 消防防災課	災害時や防犯対策には、地域住民同士の助け合い・支え合いの大切さが、近年、改めて認識されています。「遠くの親戚より近くの他人」というとおり、いざという時に一番頼りになるのは、隣近所の人たちであり、助け合える隣近所づくりこそ自治組織の役目の1つであります。 このようなことから、ご提言のとおり関係課と連携し、「安全・安心」をキーワードに、防災面からの働き掛けを行っていくこととし、次のとおり修正しました。 (修正内容) 「地域自治組織を維持・発展させるため、自治組織未加入世帯に対し、啓発パンフレットの作成・配付並びに訪問など、加入の促進を図ります。【市民交流課】」 ⇒「地域自治組織を維持・発展させるため、自治組織未加入世帯に対し、啓発パンフレットの作成・配付並びに訪問のほか、関係課との連携により、まずは自主防災会の組織化を働き掛けるなど、自治組織への加入の促進を図ります。【市民交流課、消防防災課】」
10	第3回(11/9) 地域福祉計画策定 委員会	井田真一委員	120	地域福祉	「行政などが取り組むこと」のうち、各課の名称が書かれており、市民交流課の記載もある。自治組織の強化等に、できればこの会議に来てもらい、話をお聞きできればと思う。(P112)	市民交流課	自治組織及び市政協力員に関する事務を所掌する市民交流課長に加え、消防防災課長の2名が、地域福祉委員会は所要のため出席が叶いませんが、健康福祉委員会に出席させていただきます。

※委員によっては複数の委員会を兼任し、役職も異なるため、表記を「委員」で統一しています。

第2期鴨川市健康福祉推進計画【地域福祉計画編】(素案)に対する委員の意見等及び当該意見等への対応一覧

資料 2

No.	回次	発言者※	頁 (原案)	分野	意見等(頁番号については素案のもの)	担当課等	対応(案) (頁番号については原案のもの)
11	第3回(11/9) 地域福祉計画策定 委員会	四井与志雄委員	123	地域福祉	課題として、ボランティアやリーダーの 発掘・育成が必要とあげられているが、 実際には難しい。これからの課題として、 もうちょっと具体的な取り組みを挙げてい ただければ。(P115)	福祉課 社会福祉協議会	実施計画に具体的な取り組み内容を掲載しました。 なお、ボランティアセンターを運営する社会福祉協議会では、ボランティア人材の底辺を広げるため、まずは活動に興味を持ってもらうことが必要不可欠であるとの認識のもと、引き続き、各地でイベント等を開催し、一人でも多くの参加者を確保するための積極的な働き掛けを行うこととしています。
12	第1回(11/13) 健康福祉委員会	民内順子委員	127	地域福祉	コミュニティバスの運行について、山間 部は道路が狭隘のため、小型車の運行 を検討すべきでは。 (P120)	企画政策課 福祉課 社会福祉協議会	意見を踏まえ、次のとおり修正しました。 (修正内容) 「買い物などの日常生活の基盤支援を図ります。また、地域の 実情を踏まえ、より地域のニーズに対応したコミュニティバ スや移送サービスを実施します。【企画政策課】」 ⇒「買い物や通院など、日常生活に欠かすことのできない移 動手段として、地域のニーズに基づきコミュニティバスを運行 するとともに、自宅などからバス停留所までの移動が困難な 高齢者等のニーズに対応するため、ドア・ツー・ドアによる新 たな移送サービス等の実施方策についても検討を進めます。 【企画政策課、福祉課、地域福祉推進団体】」 また、利用の促進を図るため、以下の取り組みを追記しまし た。 「必要とする人が各種移送サービスを適切に利用すること ができるよう、制度等の周知及び利用環境の充実を図りま す。【企画政策課】」
13	第3回(11/9) 地域福祉計画策定 委員会	栗原定雄委員	128	地域福祉	バリアフリー化について。体育館(公民 館)の階段のところが、車いすが通れな いため、スロープにしてほしい。(P120)	学校教育課 生涯学習課	小中校の屋内運動場については、建替えや大規模改修等 に合わせ、順次スロープを設置する等バリアフリー化を進め ています。 なお、計画期間内においては、天津小学校及び西条小学校 の屋内運動場の大規模改修を予定しており、この改修に併せ て、バリアフリー化に配慮して参ります。 なお、公民館については、計画期間内における具体的な計 画は無いものの、同様に大規模改修等の折には、スロープを 設置する等バリアフリー化を進めて参ります。

※委員によっては複数の委員会を兼任し、役職も異なるため、表記を「委員」で統一しています。

第2期鴨川市健康福祉推進計画【地域福祉計画編】(素案)に対する委員の意見等及び当該意見等への対応一覧

資料 2

No.	回次	発言者※	頁 (原案)	分野	意見等(頁番号については素案のもの)	担当課等	対応(案) (頁番号については原案のもの)
14	第3回(11/9) 地域福祉計画策定 委員会	服部克巳委員	131	地域福祉	昔は地域で子どもを育てる風潮があった。今はプライバシーが重視され、なるべくお互い関わらない方がいいという人が増えている。なかなか難しいが、そのあたりに力を入れていかなければいけないのでは。(P123)	子ども支援課 福祉課	地域のつながりが希薄化する中で、市の子育て支援拠点施設である子育て総合支援センターにおいて、就学前の親子等の交流、子育てに関する相談や情報提供を行うとともに、子育ての援助を受けたい方と援助を行いたい方の相互組織であるファミリー・サポート・センターを設置し、地域の子育て資源を活用した取り組みを実施しています。 引き続き、地域の中で安心して子育てができるよう、地域資源を活かした取り組みを拡充して参ります。 また、市内の企業や事業所と締結している見守りネットワーク協定や、虐待防止対策委員会の活動などを通じ、地域社会全体で子どもを見守るといった意識の向上に努めて参ります。
15	第3回(11/9) 地域福祉計画策定 委員会	鎌田麻子委員	133	地域福祉	孤独死、虐待、DVに関して、「一例も発生させない」とあるが、発生させなければよいというわけではないし、発見を遅らせてしまうのではないかと。表現の検討が必要。(P115)	福祉課	ご指摘のとおり、次のとおり修正しました。 (修正内容) 「一人暮らし高齢者の孤独死や、児童や高齢者及び障害者の虐待、家庭内の暴力(DV)などを一例も発生させない地域を目指します。」 ⇒「一人暮らし高齢者の孤独死や、児童や高齢者及び障害者の虐待、家庭内の暴力(DV)のない地域を目指します。」
16	第3回(11/9) 地域福祉計画策定 委員会	服部克巳委員	134 135	地域福祉	江見地区で行われている安心生活創造事業のサポーター制度(サポーター養成講座の開催など)は非常に良いもの。認知症に対する支援として、民生委員がみているが、老老介護の世帯に対する支援も検討してほしい。(P123)	福祉課	委員ご指摘のとおり、民生委員・児童委員さんは専ら65歳以上の独居高齢者を対象としていますが、高齢者だけの世帯についても気にかけていただいております。 また、「見守りネットワーク」協定の締結を促進し、より一層の見守り支援の充実に努めて参ります。 なお、安否確認事業や配食サービスなどは高齢者のみの世帯の見守りも対象としておりますので、委員の意見を踏まえ、次のとおり追記するとともに、見守り支援メニューを新規に掲載しました。 「地域の力を活用した見守り体制を推進します。【福祉課、健康推進課】」

※委員によっては複数の委員会を兼任し、役職も異なるため、表記を「委員」で統一しています。

第2期鴨川市健康福祉推進計画【地域福祉計画編】(素案)に対する委員の意見等及び当該意見等への対応一覧

資料 2

No.	回次	発言者※	頁 (原案)	分野	意見等(頁番号については素案のもの)	担当課等	対応(案) (頁番号については原案のもの)
17	第3回(11/9) 地域福祉計画策定 委員会	鎌田麻子委員	137	地域福祉	生活困窮者への取り組みについて、仕事に就きたいという方の相談を受けても地域に仕事・受け皿がない。地域経済の活性化に向けた取り組みを入れてほしい。(P118)	健康推進課 福祉課	ハローワークなどの関係機関と連携等により、生活困窮者の就労支援を推進して参りますが、地域経済の活性化に向けた取り組みについては、人口減少の克服や仕事づくりを目的に、現在策定中である「鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に委ねることとします。
18	第1回(11/13) 健康福祉委員会	民内順子委員	137	地域福祉	「引きこもり」などの方は、人間関係が難しいため、就労できない方が多い。本市の地域性を生かして、農業など農作物を作るようなコミュニケーション以外で仕事が見つけられる就労支援を図ってはどうか。(P128)	健康推進課 福祉課	農業をはじめとした本市の社会資源を活用し、障害者も含め、引きこもりの方の状況に応じた就労支援について検討していくこととし、次のとおり、2つの取組みを追記しました。 (追記内容) ○「庁内連携の強化を図り、生活困窮に陥らないように予防と自立に向けた支援を行います。【健康推進課、福祉課、子ども支援課等】」 ○「近隣住民や各関係機関及び各団体等と連携し、地域福祉ネットワークを構築するなど、包括的な支援体制を整備し、家庭及び地域支援力の向上を図り、地域における新たな支え合いを再構築します。【健康推進課、福祉課、子ども支援課、地域福祉推進団体】」
19	第2回(10/23) 健康増進計画策定 委員会	米林喜男委員	138	地域福祉	一つだけ質問をさせていただきたい。母子家庭の転入が非常に多いと言うことで、最近では“子供の貧困”が大きな問題となっているが、これは福祉・健康両面からいろいろ考えていかなければならない問題。鴨川市の場合、自然が豊かなので、財政的な貧困と言う状況が見られないのかもしれないが、何か子供を取り囲む環境で、最近の動向とか将来に向けての施策など、お気付きの点がありましたらお聞きしたい。(P123)	子ども支援課	ひとり親家庭等の生活の安定と、就労による自立促進のため、児童扶養手当やひとり親家庭等医療費助成、母子・父子・寡婦福祉資金の貸付等を行うとともに、母子家庭及び父子家庭を対象に、平成24年度から高等職業訓練と自立支援教育訓練に係る給付事業を実施し、職業訓練等を通じた就労支援と経済的負担の軽減を図っています。 また、子育て家庭への経済的支援として、中学校卒業までの児童を養育する人に対して、児童手当の支給や子ども医療費の助成を行っていますが、子ども医療費については助成の対象年齢を拡大し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図っていく予定ですので、その旨を次のとおり追記しました。 (追記内容) 「子育て世帯の経済的負担を軽減するため、対象年齢を拡充した上で、子ども医療費を助成します。【子ども支援課】」

※委員によっては複数の委員会を兼任し、役職も異なるため、表記を「委員」で統一しています。

第2期鴨川市健康福祉推進計画【地域福祉計画編】(素案)に対する委員の意見等及び当該意見等への対応一覧

資料 2

No.	回次	発言者※	頁 (原案)	分野	意見等(頁番号については素案のもの)	担当課等	対応(案) (頁番号については原案のもの)
20	第3回(11/9) 地域福祉計画策定 委員会	篠原榮治委員	146	地域福祉	市民への情報発信手段の一つである 回覧物はこまめに回した方がよいといわ れていたが、できるだけまとめて回した 方がよいのではないかと。小さなことだ が、大事なことだと思う。また、新しい組 織を作るのではなく、今あるものを有効 に活用するのが良いと思う。(P136)	市民交流課	回覧物は、市政協力員を通して配付を行っております。市政 協力員の負担も考え、原則、各月の1日と15日の2回の配付 をご理解頂いております。また、回覧されない世帯を考慮し、 平成26年9月から回覧物と同様の内容を、鴨川市のホーム ページに掲載しております。
21	第3回(11/9) 地域福祉計画策定 委員会	鎌田麻子委員	148	地域福祉	「困ったらずぐに相談」について、相談 支援の質の向上を入れてほしい。(P138)	健康推進課	委員ご指摘のとおり、「相談支援の質の向上」を計画に位置 付け、次のとおり修正しました。 (修正内容) 「福祉総合相談センターのワンストップサービスによる総合 相談支援の充実を図ります。【健康推進課】」 ⇒「福祉総合相談センターのワンストップサービスによる総合 相談支援の質の向上、充実を図ります。【健康推進課】」
22	第1回(11/13) 健康福祉委員会	民内順子委員	150	地域福祉	障害児のデイサービスを提供する施設 が、安房地域には「こすもす」の1施設だ けであるため、立地の促進を図るべき。 (P140)	福祉課	計画書150ページにあるとおり、民間事業者による児童発達 支援センター等の立地促進に努めて参ります。
23	第1回(11/13) 健康福祉委員会	松本良二委員	151	地域福祉	障害児は親にとっては宝物である。ア スペルガー症候群など発達障害の子ども へ対応の充実を図って欲しい。(P140)	福祉課	民間事業者による児童発達支援センター等の立地促進に より、障害児通所支援メニューにある発達障害児童の特性を 踏まえた「児童発達支援事業」「放課後等デイサービス事業」 の利用者の増加が見込まれます。この利用により発達障害 児の対応の充実を図って参ります。 なお、参考として「障害児のための施設・事業」を新たに掲 載しました。
24	第1回(11/13) 健康福祉委員会	松本良二委員	151	地域福祉	夷隅郡大多喜町にある児童発達支援 センター「そらいろ」の黒木・市川両先生 に代表される発達障害児の支援に係る プロフェッショナルの育成を図って欲し い。(P140)	福祉課	職員には児童発達支援事業に関する各種研修を積極的に 受講させるほか、障害児通所支援メニューにある「保育所等 訪問支援事業」の活用により支援方法の指導を受けさせるな どしてスキルアップを図って参ります。

※委員によっては複数の委員会を兼任し、役職も異なるため、表記を「委員」で統一しています。